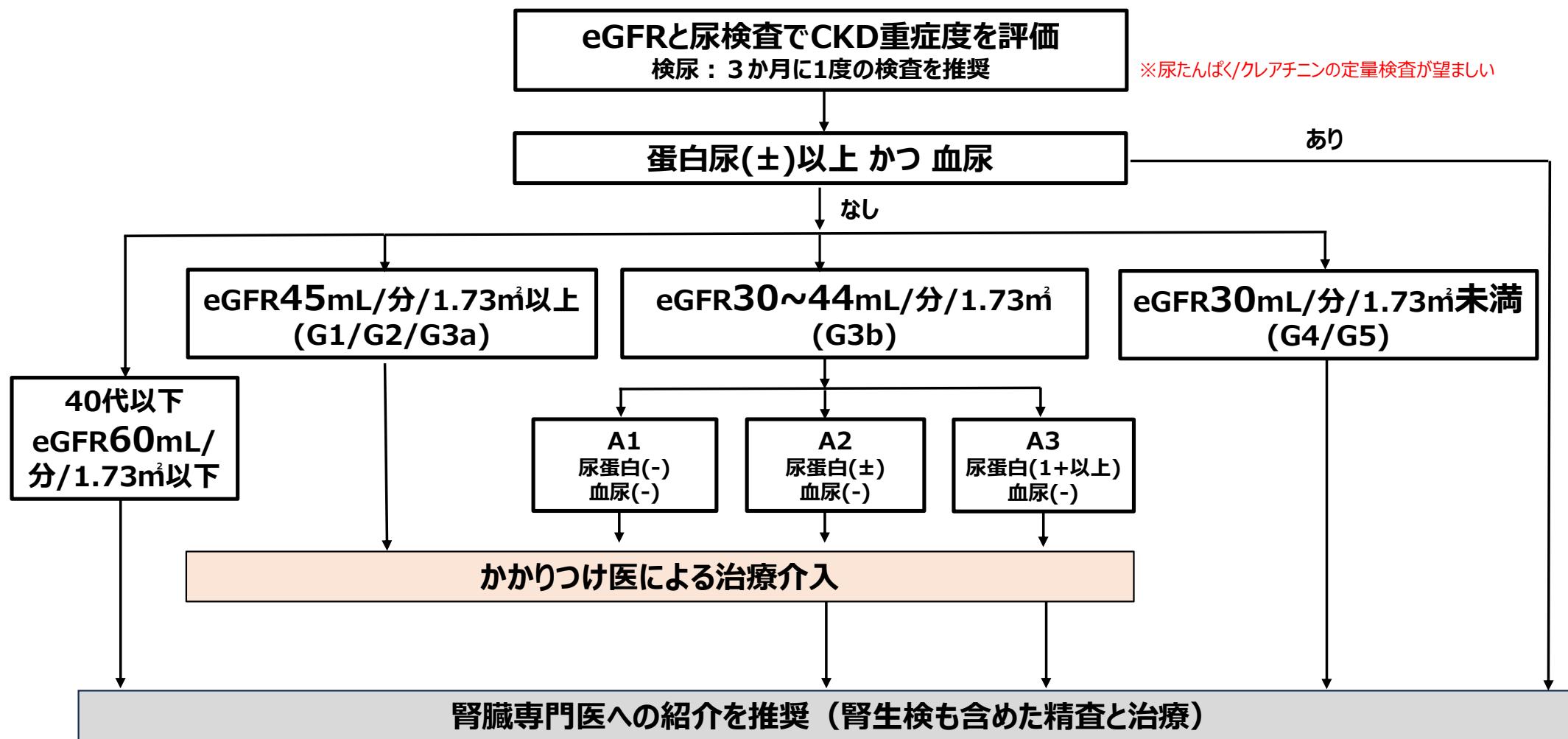


CKD（慢性腎臓病）治療/紹介フロー



どのタイミングにおいても専門医への紹介は可能です。主治医の判断でいつでもご紹介ください。

CKD連携紹介基準に即した腎専門医への紹介が望ましいが、

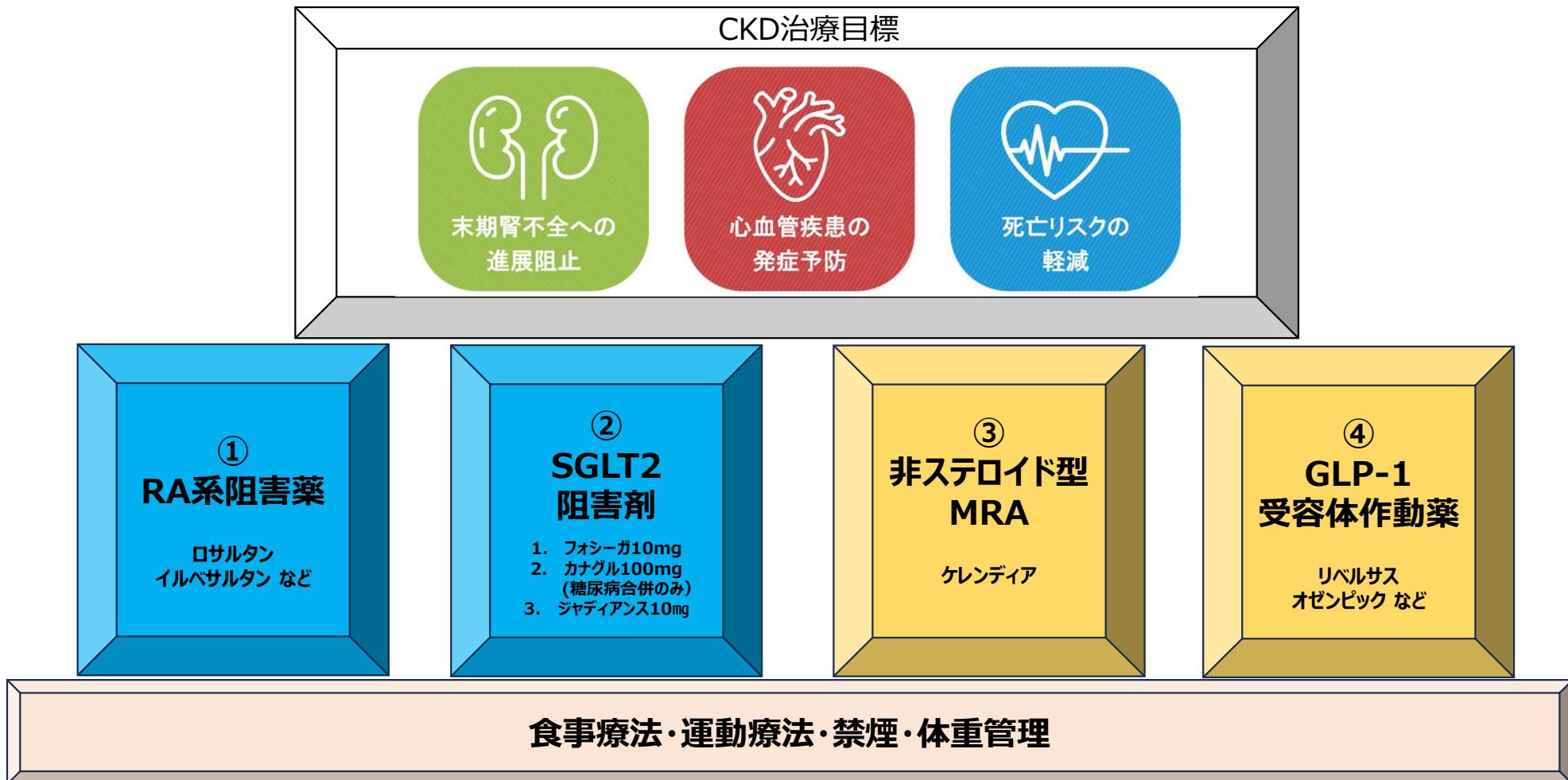
紹介を見送る場合は、治療機会を逸しないために主治医の判断のもとCKD治療を開始する。

*蛋白尿 (+1以上) の患者は定期的に腎臓専門医を受診することを推奨する。

CKD診療ガイド2024を基に作成

CKD治療の基本方針

CKD診療ガイド2024掲載の3つの治療目標達成のために、治療の中心となる薬剤は適応症やエビデンスの有無を考慮して①～④薬剤を推奨する

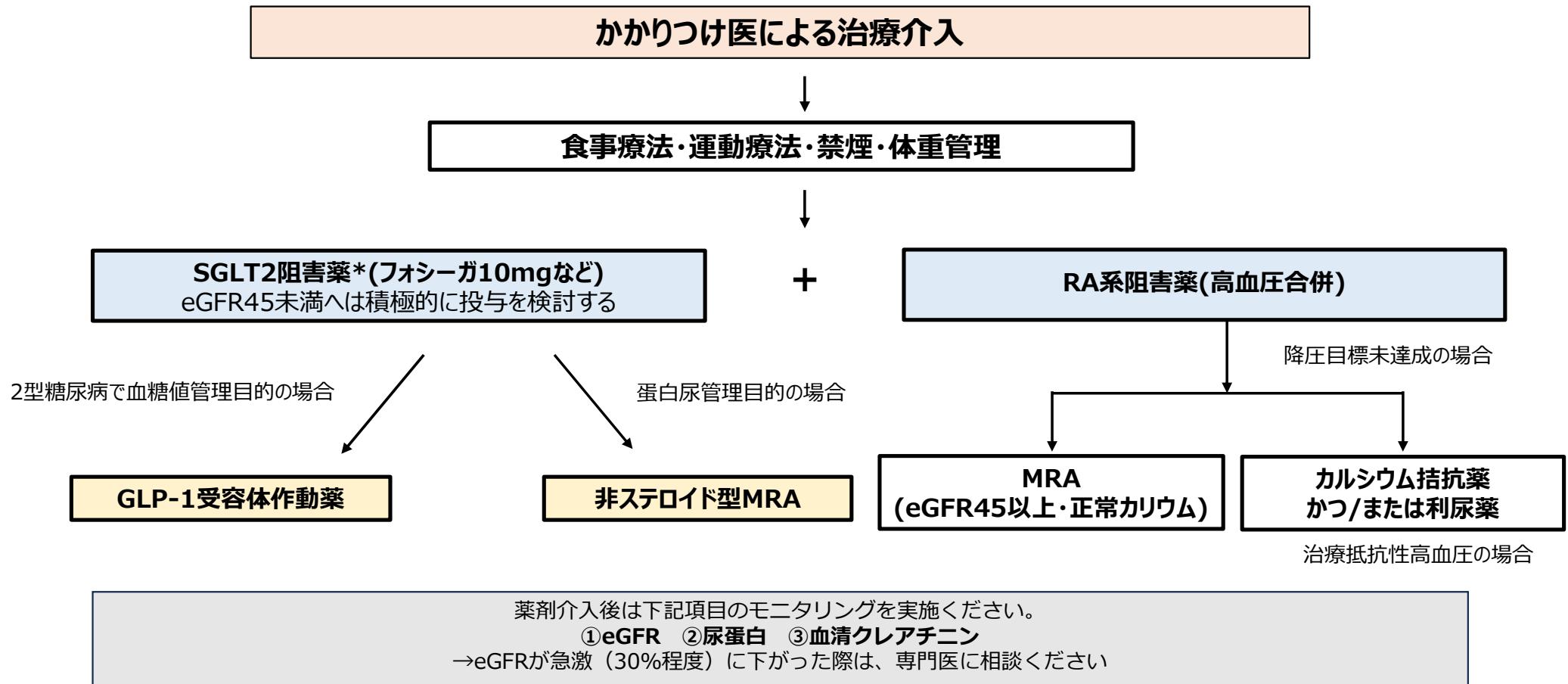


※黄色は2型糖尿病を合併している場合のみ使用可

SGLT2阻害薬で糖尿病非合併CKDに保険適応があるのはダパグリフロジンとエンパグリフロジンのみ。

CKD診療ガイド2024を基に作成

かかりつけ医によるCKD治療フロー



* SGLT2阻害薬はCKD適応を有する薬剤を選択する（フォシーガ10mg、ジャディアンス10mg、カナグル100mg：2型糖尿病合併のみ）

* 黄色は2型糖尿病を合併している場合のみ使用可

* いずれにおいてもクリニカルエビデンスを有する薬剤を使用すること。

* カリウム値高値の場合 K値5.5以上の場合には高カリウム血症改善剤使用を検討する。

上記の治療が有効でない場合RAASiの減量又は中止を検討する

CKD診療ガイド2024を基に作成

CKD・DKD患者を対象とした臨床試験のエビデンスを有する薬剤一覧

CKD関連の適応症を有する薬剤（慢性腎臓病/糖尿病合併慢性腎臓病等）		CKD,DKD患者を対象とした臨床試験	左記臨床試験結果		
			腎保護	心保護	全死亡
◆ SGLT2阻害薬	※慢性腎臓病の適応 ダパグリフロジン10mg（フォシーガ）	DAPA-CKD試験	○	○	○
	※慢性腎臓病の適応 エンパグリフロジン10mg（ジャディアンス）	EMPA-KIDNEY試験	○	—	—
	※2型糖尿病を合併する慢性腎臓病の適応 カナグリフロジン100mg（カナグル）	CREDENCE試験	○	○	—
◆RA系阻害薬 ARB	※高血圧症、高血圧及び蛋白尿を伴う2型糖尿病における 糖尿病性腎症の適応 ロサルタン（ニューロタン）	RENAAL試験	○	○	—
◆非ステロイド型MRA	※2型糖尿病を合併する慢性腎臓病の適応 フィネレノン（ケレンディア）	FIDELIO-DKD試験 FIGARO-DKD試験	○	○	—

CKD関連の適応症を有していない薬剤		DKD患者を対象とした臨床試験	左記臨床試験結果		
			腎保護	心保護	全死亡
◆GLP-1受容体作動薬	※2型糖尿病の適応 セマグルチド（オゼンピック、リベルサス）	FLOW試験（オゼンピック1.0mg）	○	○	○
◆RA系阻害薬 ARB	※高血圧症の適応 イルベサルタン（アバプロ）	IDNT試験	○	○	—

高カリウム血症改善剤 合併症管理 ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム（ロケルマ）

※黄色は2型糖尿病を合併している場合のみ使用可
※RENAAL試験、IDNT試験は2型糖尿病蛋白尿陽性患者が対象

CKD診療ガイド2024を基に作成